

## ◆ プログラム ◆

8:50～9:00 開会挨拶 ディ・スリー研究所 代表取締役所長 堀江 透

### 第一部 ミニシンポジウム

ヒト薬物動態をミミックした *in vitro*, *in vivo* 試験系の構築とその

創薬事業への活用

オーガナイザー 杉山 雄一 先生 東京大学大学院薬学系研究科 教授

9:00～9:30 基調講演

医薬品開発—ヒト組織利用からマイクロドージング試験へ

杉山 雄一 先生 東京大学大学院薬学系研究科 教授

9:30～10:00 CYP3A-HAC マウスの作製と薬物代謝研究

香月 康宏 先生 鳥取大学大学院医学系研究科 助教

10:00～10:30 ヒトおよびラット肝細胞キメラマウスを用いた種差の検討

井上 多恵 先生 (株)フェニックスバイオ 研究開発部

10:30～11:00 ヒト小腸代謝の *in vivo* モデルの構築とその評価

久世 治朗 先生 大鵬薬品工業(株) 飯能研究センター

<休憩 15分>

11:15～11:30 マイクロ空間を利用したヒト肝細胞の三次元培養系の構築とその利用

江尻 洋子 先生 (株)クラレ つくば研究センター

11:30～12:00 網羅的タンパク質絶対定量を利用したヒト薬物動態モデルの新しい評価技術

大槻 純男 先生 東北大学大学院薬学研究科 准教授

12:00～12:30 ヒト薬物動態の定量的予測を目指したヒト肝細胞の利用

前田 和哉 先生 東京大学大学院薬学系研究科 助教

12:30～13:00 昼食 ライブ (<http://www.omitaka.com/>)

龍馬をこよなく愛し、龍馬の志を受け継ぐ

NEO 社会派若手シンガーソングライター 松尾 貴臣

(株)こころざし音楽工房 代表取締役

13:00～13:45 ランチョンセミナー

積水メディカル株式会社

## 第二部 シンポジウム

### 現状の医薬品開発の戦略上の問題点とその解決策

13:45～14:45 座長 栗津 荘司 先生 東京薬科大学名誉教授  
我々は世界の製薬産業を取り巻く潮流変化を的確に読み取っているか？

藤田 芳司 先生

(株)ディスカバリー・ハブコンサルティング 代表取締役社長

14:45～15:45 座長 宮田 満男 先生 ディ・スリー研究所副所長  
医薬品開発の次世代戦略とは？

宮田 満 先生

日経 BP 医療局主任編集委員

<休憩 15分>

16:00～17:00 座長 堀江 透 ディ・スリー研究所 代表取締役所長  
医薬品開発におけるエピジェネティクス修飾の包摂

桜田 一洋 先生

(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー

17:00～17:10 祝辞 辻 彰 先生 金沢大学名誉教授

17:30～19:30 懇親会（情報交換会）昭和大学附属病院 17階レストラン



ディ・スリー研究所は、お陰さまで  
本年度で設立10周年目を迎えることができました。  
これも一重に皆様方のご支援の賜物と感謝しております。  
その節目として、この度、「医薬品開発で利用されるニ  
ューテクノロジーと開発戦略の変革」をテーマとし、  
講演会を開催する運びとなりました。  
懇親会もごございますので、親睦および情報交換の場として  
ご活用頂ければ幸いです。  
これからもディ・スリー研究所は、若手研究者の育成と  
ニューテクノロジーなど最新の情報を皆様にお届けする  
ことに努めてまいりたいと存じます。  
今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

2009年12月11日 ディ・スリー研究所

代表取締役所長 堀江 透